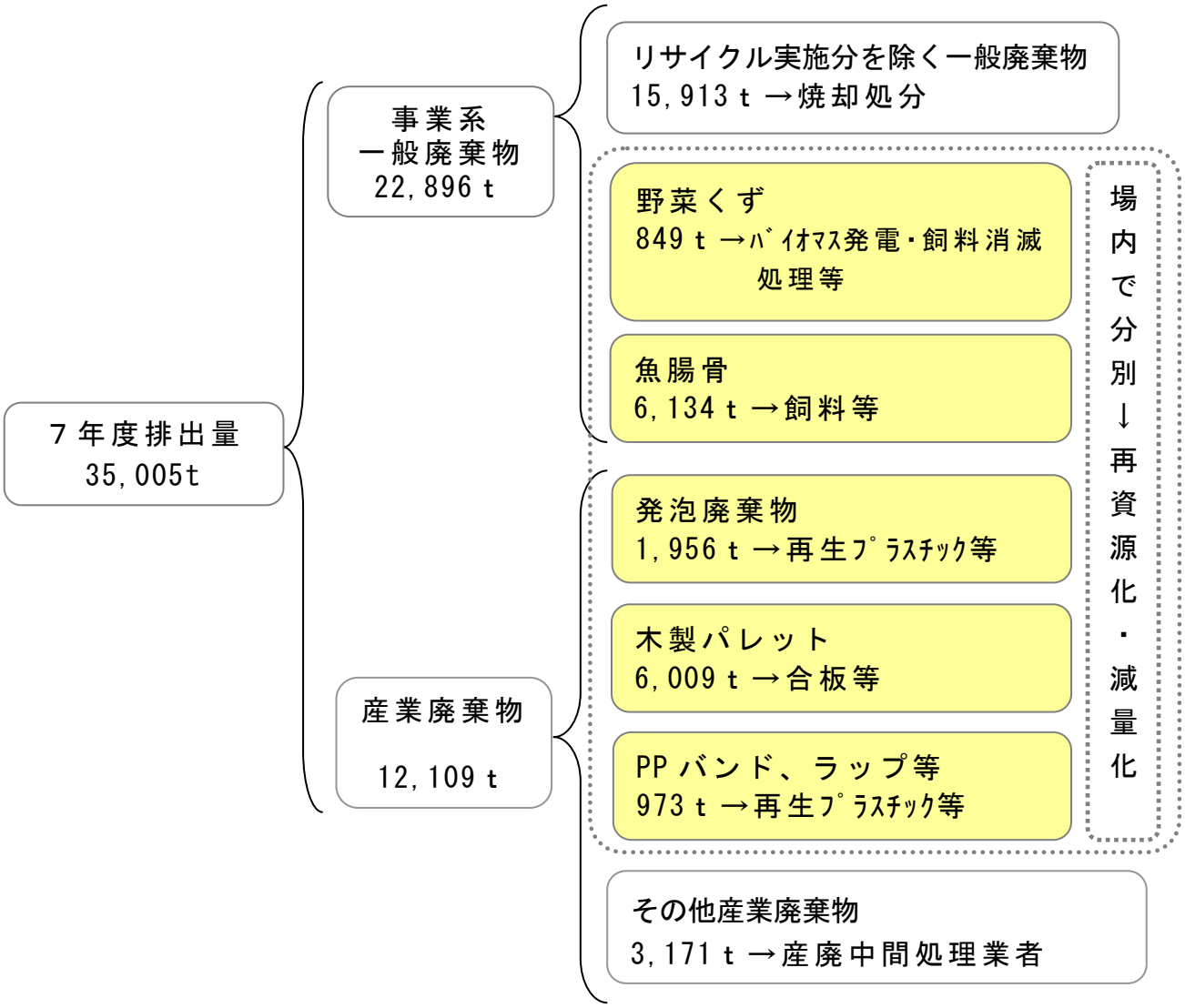
東京都中央卸売市場　廃棄物処理及びリサイクルの現状と課題



※廃棄物内訳は単位未満を四捨五入しており、内訳の合計と全体排出量が一致しない場合がある。

○一般廃棄物の排出量は 22,896 トンであり、このうち清掃工場で焼却処分されるごみは約 70%の 15,913 トンです。野菜くずは 849 トン、魚腸骨は 6,134 トンが再資源化されており、段ボール(集計外)はほぼ全てが再資源化されています。

○産業廃棄物の排出量は 12,109 トンであり、発泡廃棄物 1,956 トン、木製パレット 6,009 トン、PP バンドやラップ等 973 トンが主に場内で分別され、再資源化業者に持ち込まれています。これらを除く 3,171 トンは産業廃棄物中間処理業者へ持ち込まれ、分別のうえ再資源化やサーマルリサイクル(熱回収)等されています。

○市場で排出された 35,005 トンの廃棄物のうち、野菜くず、魚腸骨、発泡廃棄物、木製パレット、PP バンド等の 15,920 トン(全体の約 45%)は、主に場内で分別し再資源化業者に持ち込まれています。引き続き、ごみの発生量を抑制するとともに、リサイクルの一層の推進を図ることが課題となっています。